



新人保育者の遊びの理解と援助の変容に関する研究

キーワード

保育者、保育実践、子ども理解、遊び、環境環境、援助

研究内容

現行幼稚園教育要領においては、子どもの資質・能力の育成に際し、遊びを通して総合的に指導することが保育者に求められています。保育実践において、子どもの遊びの充実をいかに捉え、子ども理解や保育環境の構成に繋げられるかについては、保育者の専門性の深化に関連しています。

そこで、私たちの研究では新人保育者が子どもの遊びをどのように理解し捉えていくのか、そしてその理解に基づいてどのような援助を行うのかという観点から継続的に調べることにより、保育者としての専門性の向上に資する要因について明らかにしていくことを目的としています。2～3年間の継続研究を行うことにより経年変化を捉え、熟達プロセスを明らかにすることにより保育者育成の示唆となるよう検討していきます。



担任保育者とクラスの子どもたちとの関わり



子どもたちが安心して好きな遊びを楽しめるような環境環境の工夫

関係論文、特許・著作物等の知財情報、連携の実績

- ・新・保育内容総論（2022）前田和代編著，情報教育出版
- ・新・保育の計画と評価 - 理論と実践をつなぐ保育カリキュラム論（2023）前田和代編著，情報教育出版
- ・これからの時代を生きる子どもたちのための保育方法論（2024）堀科編著，創成社
- ・遊びの指導計画立案構想の傾向と視点 - 学生のアンケート分析を通して - （2023）東京家政大学教職センター年報，第16号 p2～12

社会連携・産学連携の可能性

子どもに関する事業（文化、教育など）との子ども理解や子どもへのかかわり方に関する提案、共同研究が可能です。